本文

第 115 号 本文

官報

第百拾五號　明治十六年十一月十四日　水曜日

太政官文書局

○東京府告示

○東京府乙第百拾六號

北海道移住士族之件ニ付本年十月當廳乙第百三號告示中左之但書追加候條此旨告示候事

明治十六年十一月十四日　東京府知事芳川顯正

但士族ノミニテハ農事ニ不馴ナルヲ以テ自然熟練ノ農家ヲ要用ト認ムルトキハ移住志願ノ士族百戸ニ付農家即平民五戸ノ割ニ至マテハ聯合シテ渡航ノ事ヲ請願スルヲ得此場合ニハ士族同一ノ保護貸與相成候儀ト相心得ヘシ

○伺指令

○海軍省

山口縣ヨリ扶助金下賜ノ儀ニ付伺

一家ヨリ二名水兵志願合格ノトキハ扶助金各自ニ下賜可相成哉

明治十六年十一月五日

指令

一家ヨリ水兵二名採用セシトキハ其二名分ノ扶助料ヲ給與スヘシ

明治十六年十一月八日

○司法省

茨城縣ヨリ訴訟勸解之儀ニ付伺

明治十四年第八十三號公布第一條ニ治安裁判所ハ訴訟事件ヲ勸解ストアレトモ個ハ是レ偏ニ治安裁判所ノ權限ヲ定メラレタルモノニシテ訴訟者ニ對スルノ命令ニ非ラサレハ勸解ハ仍ホ從前ノ通(明治九年御省甲第十七號論達ニ遵フ)勸解ヲ經ルト經サルハ訴訟者ノ意中ニアルモノニシテ訴訟者カ勸解ヲ請フモ到底其効ナシト認ムルモノハ直チニ本訴ヲ起スモ固ヨリ苦シカラサル筋ト相心得可然哉又其但書ニ諸官廳ニ對スル事件(中略)ハ勸解スルノ限ニ在ラスト有之官廳カ人民ニ對スルモ人民カ官廳ニ對スルモ訴訟ニ殊異ハアラサレトモ明治七年第廿四號御省達及ヒ八年甲第五號十四年甲第四號御省布達ニ依リ考フルトキハ右ハ全ク字面之通人民カ官廳ニ對スルモノニ止マリ官廳カ人民ニ對スルモノハ含蓄セサル儀ト相心得可然哉

明治十六年十月廿二日

指令

伺ノ趣前段人民互相ノ間ニ起ル訴訟ハ商事ニ係リ急速ヲ要スル事件ヲ除クノ外必ス勸解ヲ經可ヘキモノトス後段人民ヨリ官廳ニ對スルト官廳ヨリ人民ヘ係ルトニ拘ラス其事件ハ總テ勸解セサルモノトス

明治十六年十一月十日

○大審院判決

宣告

兵庫縣攝津國有馬郡北三田村平民
香長　喜之助
明治十五年十月
二十四年二月

愛媛縣伊豫國越智郡弓削島平民
土井　利平治
明治十五年十月
三十三年八月

強盜被告事件ニ付明治十五年十月十二日兵庫重罪裁判所ニ於テ喜之助カ犯罪ノ内皆森藤兵衛方ノ一次ハ自首ニ係ルモ他ノ二次ヲ以刑法第三百七十八條及ヒ第三百七十九條ニ照シ十二年ノ有期徒刑ニ處ス又利平治ニ於テモ刑法第三百七十八條及ヒ第三百七十九條ニ依リ十二年ノ有期徒刑ニ處スト言渡シタル裁判ニ服セス各上告セル利平治カ陳述ノ要領ハ利平治ハ强盜ノ共犯人ニ非ス曾テ爲シタル賭博賃金ノ辨濟ヲ受ケンカ爲メ同伴ノ途中捕縛ヲ受ケ遂ニ共犯人トセラレタルハ不當ナリト又喜之助カ申立ハ福西仙太郎外二名ト共謀シテ强盜ヲ犯シタルニ渠等ハ處刑ヲ受スシテ却テ關係無キ利平治ヲ共犯人トセラレタルハ不當ナリト云フニ在リ

對手人檢事補三俣秀彦ハ上告ノ不理ニシテ其原由トナスニ足ラサル旨答辯セリ

大審院ニ於テ專任判事伴正臣ノ報告ニヨリ立會檢事加納久宜ノ意見上告代言人齋藤孝治ノ陳述ヲ聽クニ加納檢事ニ於テハ附帶上告ヲ爲シテ曰原裁判ノ文中ニ香長喜之助カ明治十五年三月四日福西仙太郎岡田米藏ト共謀シ兇器ヲ携ヘ攝津國八部郡下谷上村皆森藤兵衛方ヘ押入リ家内ノ者ヲ縛シ置キ物品奪取ルノミナラス追跡シタル皆森爲松外二人ニ負傷セシメ猶又土井利平治姓不知直吉共謀シ兇器ヲ携ヘ云々前犯罪ノ内皆森藤兵衛方ノ一次ハ自首ニ係ルモ他ノ二次ヲ以刑法云々ト有之所右利平治ヲ除クノ外福西仙太郎外二名ハ未タ就縛ニ及ハサル者ニシテ果テ被告等カ同謀ノ强盜犯ナルヤ否確知スルニ由ナキニ既ニ之ヲ判文ニ明揭シテ强盜犯者ナリトセシハ越權ニ涉ル處分ナルノミナラス皆森藤兵衛方ノ一次ハ自首ニ係ルトアルモ原書類中其自首セシモノヲ見ス又假令自首セシモノトスルモ强盜犯ニシテ人ニ負傷セシモノナレハ其罪無キニ非サルニ付相當ノ刑ヲ適用スヘキニ措テ問ハサルハ不當ノ裁判ニ付之ヲ破毀シ他ノ裁判所ニ移サレシコトヲ望ム上告代言人齋藤孝治ハ原判文中土井利平治ニ於テハ其犯罪ニ係ル事實ノ理由ヲ明示セサルハ治罪法第三百四條ニ抵觸スルモノナリ而又檢察官附帶上告ノ如ク被告喜之助カ爲松等ニ負傷セシメタルノ點ニ於テ若シ之ヲ刑法第三百八十條ニ依テ問擬セラルヽ片ハ其當ヲ失スルニ至ラン何トナレハ該喜之助カ所爲ハ强盜ヲ爲スニ關スルモノニ非スシテ同第三百三條ニ載スル所ノ行爲ニ係ルモノナレハナリ或ハ擬律錯誤ノ點ヲ以本院ニ於テ直チニ裁判アランカト思料スルニヨリ陳辯スト云ヘリ依テ之ヲ審按スルニ被告兩名ノ上告趣旨ニ於ルヤ一ハ刑ノ共謀ニ在ツテ仮令眞否ノ相違セルモ自己カ罪ノ有無且輕重ニ關係無シ一ツハ事實ノ認定ニ非難ヲ容ルヽモノニシテ孰モ上告ノ効ヲ有セス又上告代言人ノ述フル利平治カ裁判ニ於ケルモ事實理由ノ揭示ヲ缺キシニ非スシテ其次第ヲ列擧シ以明示シアレハ治罪法第三百四條ニ抵觸セサルニ付是亦上告ノ原由ト爲スヲ得スト雖ヒ檢察官附帶上告ノ如ク福西仙太郎外二名ハ未タ捕得セサルニ拘ハラス之ヲ喜之助カ强盜共謀者ナリト論定シ其判文ニ明擧シタルハ越權ノ處分タルヲ免カレス加フルニ同人カ自首ニ於ルモ訴訟書類中之ヲ見サルノミナラス仮令自首ニ相違非サルモ法律ノ正條ヲ示サス徒ラニ自首ニ係ルトノミ記載シタルハ治罪法第三百四條ニ觸ルヽ不法ノ裁判ニ付旁以テ治罪法第四百二十八條ニ從ヒ原裁判ヲ破毀シ更ニ相當ノ裁判ヲ受ケシメンカ爲メ大坂重罪裁判所ニ移スモノ也

大審院ニ於テ檢事加納久宜立會宣告ス

裁判長判事　鳥居　斷二
專任判事　伴　正臣
判事　薄井　龍之
判事　園田　弘
判事　小村　壽太郎
書記　香田　能眞

明治十六年十月三十日

○宮廷錄事

○昨十二日ハ稚高依姫尊十年祭ニ付　宮中御殿殿並ニ豐島岡御墓所ニ於テ御祭典ヲ行ハセラレ　御代拜トシテ侍從從四位萬里小路通房　皇太后宮ヨリハ權掌侍正七位吉田瀧　皇后宮ヨリハ權掌侍正六位壬生廣子ヲ差遣サレ御玉串ヲ供セラレ二品彰仁親王三品貞愛親王二品能久親王三品威仁親王及鍋島式部頭三等掌典若倉具綱宮内權少書記官田邊新七郎四等掌典山田有年等參場アリタリ

○官廳彙報

○土方内務大輔内務大書記官地理局長櫻井勉及同省准奏任御用掛荒井郁之助同淺井新一ハ襲ニ靜岡縣下三形ヶ原ヘ出張ノ處孰モ一昨十二日歸京シタリ

○品川農商務大輔ハ本月七日大坂ニ着シ同九日和歌山縣ヘ向ケ出發シタリ

○三好陸軍中將ハ實母死去ニ付本月十二日ヨリ忌引セリ

○曩ニ三池集治監ヘ出張セシ内務大書記官監獄局長石井邦猷ハ一昨十二日歸京シタリ

○工部大書記官中井弘ハ一昨十二日御用之アリ長崎表ヘ出張ヲ命セラレタリ

○大阪府知事建野鄕三、埼玉縣令吉田清英、長野縣令大野誠、石川縣令岩村高俊、岡山縣令高崎五六、高知縣令田邊良顯ハ孰モ一昨十二日着京シ三重縣令岩村定高ハ去ル十日、廣島縣令千田貞曉ハ去ル十一日上京ノタメ縣地出發、滋賀縣大書記官河田景福ハ去ル八日大阪ヨリ歸廳、千葉縣警部長木間瀨柔ハ一昨十二日山口縣ヨリ歸署シタリ

○島根縣令境二郎ハ去月三十日左ノ通仰渡サレタリ

依願免本官　島根縣令　境　二郎

○新任島根縣令藤川爲親未赴任セサルヲ以テ同縣大書記官星野輝賢ハ去ル六日廳務ヲ代理セリ

○判事津田要ハ去月廿四日ニ同中御門經明ハ去ル十二日ニ各左ノ通仰渡サレタリ

自今年俸千五百圓下賜候事　判事　津田　要
自今年俸九百六拾圓下賜候事　判事　中御門　經明

○檢事島村左平ハ去月廿四日金澤始審裁判所詰ヲ命セラレタリ

○侍從高辻修長ハ去月十二日ヨリ岡山縣管内各所ヲ巡視シ孝子、貞婦、奇特者、又ハ農商ノ鰥志者等ヲ呼出シ懇々交話シ且其ノ手限ニ孝子、貞婦ハ金錢等ヲ賞與シ去ル一日播州佐用郡役所ヘ向ケ同縣ヲ出發シタリ

第 115 号

○內務權少書記官藤澤親之ハ地理局長櫻井勉歸京ニ付同局務代理ヲ解カレタリ

○內務省准奏任御用掛土橋多四郎ハ愛媛縣下赤痢病實況視察了リ去ル十三日同縣ヲ出發シタリ

○今明兩日ハ式部寮雅樂稽古所ニ於テ樂礼大演習執行ニ付諸人ノ縱覽ヲ許サル

○島根縣下ハ去月三十日午前二時頃ヨリ西南風起リ雨ヲ交ヘ同日午後十時頃ヨリ次第ニ强ク三十一日ハ朝ヨリ夕ニ至ルマテ風雨最暴ク人家ヲ倒シ樹木ヲ拔キ翌十一月一日ノ朝ニ至リ稍〻平穩ニ向ヒシカ全ク平常ニ復シタルハ同二日ナリ之カタメ同縣管下石見國濱田近海ハ石垣ヲ破壞シ同出雲國松江市街ハ家屋墻垣ヲ毀損スル少ナカラス晩稻蕎麥ノ類ハ管下一般ニ損害ヲ受ケタル模樣ナリ

○褒賞

○長崎縣肥前國養父郡眞木村ノ笠源右衞門、井手彌助、井手利吉ハ去ル明治十五年六月廿三日同縣下千歲川洪漲ノ際同村原九平カ其ノ家屋ト共ニ漂流シ死ニ瀕スルヲ認メ自己ノ危難ヲ顧ミス之ヲ救濟シタルニ付同年十二月廿五日賞勵局ヨリ各通ニテ左ノ褒章ヲ授與セリ

長崎縣下肥前國養父郡眞木村
笠　源右衞門
井手　彌助
井手　利吉

明治十五年六月廿三日長崎縣下千歲川洪漲ノ際同村原九平家屋ト共ニ漂流シ將ニ死ニ瀕スルヲ認メ自己ノ危難ヲ顧ミス之ヲ救濟ス依テ明治十四年十二月七日

勅定ノ紅綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰ス

○正誤

○官報第九拾七號十四葉農工商欄內公債証書賣買轉出入幷現在高第四行金壹萬千百圓ハ壹萬千五拾圓同第五行金三萬七千五百ハ三萬八千八百同第六行六萬五千三百九拾圓ハ八萬六百六拾圓ノ誤ニシテ同行中金貳百ノ上ニ「貳千」ノ二字ヲ脫ス

○官報第百拾四號第四葉上段官廳彙報欄內依願免本官トアルハ本職ノ誤

○兵事

○各縣徵兵下檢査

函館縣ニ於テハ去月八日徵兵支署ヲ縣廳內ニ開設シ同十日徵兵事務官幷ニ縣廳徵兵事務官筆生各壹名(徵兵醫員ハ各下檢査所病院醫員ヲ以テ之ニ充ツ)檢査所ニ向ヒテ出發セリ本縣ニ於テハ函館區、松前郡福山(檜山郡江差ノ二所ノ外ハ皆徵兵未施行ノ地ナリ故ニ下檢査所ヲ右三所病院ニ開キ同十四日江差ニ同十七日福山ニ同二十一日函館ニ於テ悉皆檢了シ本月五日ヲ以テ事務完結支廳ヲ閉鎖セリ其ノ人員ハ壯丁四百拾人內徵集五拾二人ニシテ十六年徵集名簿ニ比スレハ三人ノ增員ナリ

靜岡縣徵兵下檢査ハ去月二十五日ヨリ中止セシカ徵兵事務官檢閱濟歸着セルヲ以テ十一月八日ヨリ第一軍管內駿河、伊豆、兩國ヘ派出シ十二月二十日ヲ以テ完了ノ見込ナリ下檢査所ハ靜岡ヲ合セテ拾九箇所徵員ハ千百五拾貳人ニシテ之ヲ十六年徵員ニ比スレハ百九拾七人ノ增員ナリ

兵庫縣播磨國佐用郡ニ於テ徵兵下檢査ヲ了セシニ總員六拾貳人ノ內合格者三拾八人ナリ之ヲ十六年ノ檢了ニ比スレハ殆ト二倍ノ增加ナリ」

石川縣能美郡徵兵下檢査ハ去月十八日戶籍照合及檢査ヲ別宮村ヨリ始メ同二十日小松村ニテ完了セリ其ノ照合シタル戶數ハ貳萬四百餘戶受檢者ハ貳百八拾八人ニシテ合格者ハ貳百貳拾四人ナリ

○軍艦入港(海軍省報告)　第二丁卯艦ハ去ル七日兵庫港ヲ拔錨シ一昨十二日品海ヘ着シタリ

○外國軍艦出入

英國軍艦「オータンヨース」號ハ去ル五日午前同「ウ井ジラント」號ハ同日午後孰モ長崎ヘ向ケ神戶港ヲ出發シ又佛國軍艦「ウオルター」號ハ去ル九日午前長崎ヨリ神戶港ニ投錨シタリ(兵庫縣報告)

佛國軍艦「ヨールター」號ハ本月十二日午前第九時橫濱港ヘ投錨シタリ(神奈川縣報告)

○學事

○附屬小學改革(山形縣報告)　山形縣師範學校ニ於テハ這回附屬小學ニ大改革ヲ施シ從來高等二級ヨリ初等六級迄十四級ノ生徒貳百四拾貳名アリシカ一時解散シテ更ニ試驗ヲ行ヒ其ノ內百四拾五名ノ入校ヲ許シ高等三級、中等一三五級、初等一三五級ヲ除キ高等四級、中等二四六級、初等二四六級ヲ置キタリ是實地止ムヲ得サルニ出ツルモノニシテ既ニ昨年迄ハ舊來ノ師範教則ニヨリテ附屬小學ノ教授ハ一切練習生ニ委シ本校訓導ハ僅ニ壹貳名ニテ之ヲ監督スル迄ナル故別ニ教員ヲ要セサリシカ本年ヨリ文部省師範學校教則大綱ニ基キ教則ヲ改正シ附屬小學ノ教授ヲ以テ單ニ師範生ノ練習ニ供スルノミナラス大ニ各小學ノ模範タラシメントシ本校生徒ハ半ハ本校ノ教授ヲ受ケ半ハ小學ニ從事シ實地ヲ練習スルノ法トナリシ故附屬生徒受持ノ教員ヲ要スルヲ以テ貳人增加ノ事ヲ常置委員諮問會ニ附セシニ該會ハ之ヲ否決セシニ依リ更ニ小學生ヨリ新ニ授業料ヲ收メ其ノ金員ヲ以テ教員ヲ增加スルヿヲ再議ニ附シタレトモ再ヒ否決セシニ付已ムヲ得ス這回ノ改革ヲ施行セリ

○小學開校式並生徒褒賞(大阪府報告)　大阪府少書記官香阪昌邦ハ本月四日ヨリ和泉地方ヘ出張シ南郡下松小學、土生小學、修齊小學三校ノ開校式ニ臨場シ夫ヨリ仝郡岸和田小學、河合小學、相川小學、蕎原小學、木積小學及日根郡大木小學、土丸小學、日根野小學、上ノ郷小學ノ諸校ヲ巡視シ優等生徒若干名ヲ賞與シ仝八日歸廳シタリ

○學事諮問會(長野縣報告)　長野縣ニ於テハ去月廿五日ヨリ學事擔任ノ各郡書記ヲ集メ學事諮問會ヲ開設セリ然ルニ各郡長モ御用ニテ縣廳ニ出廳中共ニ會員ニ加ハレルヲ以テ總員三拾壹名トナリ豫ネテ報告セシ條項ノ外臨時諮詢セシ事項モアリ本月六日ヨリ以テ仝ク結了シタリ

○衛生事項

○入院外來患者月表(文部省報告)　本年十月中東京大學醫學部第一醫院及第二醫院ニ入院及外來ノ患者總數ハ左表ノ如シ但シ外來患者ハ始終治療ヲ受ケサルヲ以テ其ノ治不治ヲ記スルヲ得ス

第一醫院

病名	性	前月ヨリ滯在患者	本月中入院患者	本月中退院患者 全治	本月中退院患者 不治	本月中退院患者 死亡	小計	本月中外來患者
傳染病	男							
	女	八	二	六		一	一七	四
仝身病	男	二	一	一			四	七九
	女							

115

病名	前月ヨリ引續キ入院患者 男	前月ヨリ引續キ入院患者 女	本月中入院患者 男	本月中入院患者 女	本月中退院患者 全治 男	本月中退院患者 全治 女	本月中退院患者 治不治 男	本月中退院患者 治不治 女	本月中退院患者 死亡 男	本月中退院患者 死亡 女	小計 男	小計 女	本月中來院患者 男	本月中來院患者 女
神系經諸病			六	四									一	二
消化器諸病	二	七	三	六									五	九
呼吸器諸病	二	一	一	六									三	〇
血行器諸病													七	五
皮膚諸病	一	三	二	四									一	六
黴毒性諸病	四	八	一	八									五	八
泌尿生殖器諸病		三	一	二									三	四
婦人科諸病		四	一	四									二	一
外科附諸病	一	九	一	六	一	〇							三	九
眼科諸病	六	七	三	六									三	八
脚氣	二	六											二	一
合計	一	一二	七	六	一	一	一	一					二	一
總計	一	五	一	〇	四	五	五	八	一	七	三	九	二	八

第二醫院

病名	前月ヨリ引續キ入院患者 男	前月ヨリ引續キ入院患者 女	本月中入院患者 男	本月中入院患者 女	本月中退院患者 全治 男	本月中退院患者 全治 女	本月中退院患者 治不治 男	本月中退院患者 治不治 女	本月中退院患者 死亡 男	本月中退院患者 死亡 女	小計 男	小計 女	本月中來院患者 男	本月中來院患者 女
傳染病	三		二										一	二
全身病	一		一										一	一
神系經諸病	二		一	三									一	一
消化器諸病	一	四		四									一	一
呼吸器諸病													一	二
血行器諸病	二	三											一	三
皮膚諸病	一	九											一	一
黴毒性諸病													一	一
泌尿生殖器諸病		二											一	二
婦人科諸病													一	一
外科附諸病													一	一
眼科諸病													一	一
脚氣													一	一
合計	一	一	一	一									一	一
總計	一	一	一	一									一	一

○農工商事項

○農産物陳列會（岐阜縣報告）　岐阜縣美濃國郡上郡八拾八ケ村聯合農産物陳列會ハ本月廿二日ヨリ一週間同郡中坪村洞泉寺ニ於テ開設スル筈ナリ其ノ出品心得書左ノ如シ

農産物陳列會出品心得

郡上郡農産物陳列會開設ノ位置ハ本郡中坪村洞泉寺ニ於テ開會ス

開會日限ハ來ル十一月廿二日ヨリ同廿八日迄七日間トス

出品者ハ別紙雛形ニ準シ出品概目錄二通ヲ作リ戸長ノ奥書ヲ受ケ本月廿日迄ニ當郡役所ヘ差出スヘシ（雛形之ヲ略ス）

出品ハ一種ニ付量目幷ニ升數等左ノ如シ

生絲　百目内外　眞綿　百目内外

熟斗絲　同　雜穀類　壹升

生皮苧　同　繭　壹升

製茶　半斤　**器械絲**　百目ヨリ壹貫目迄

但シ雜穀類生絲繭茶ヲ除クノ外出品者ノ適宜タルヘシ

現品ハ來十一月十五日ヨリ廿日迄ニ本郡中坪村洞泉寺内本郡事務所ヘ送致スヘシ

出品ノ内米ノ一種ハ都テ粉米幷ニ糠ヲ添テ出品スヘシ

出品ハ各村共割當ノ品ハ必出品スルモノトス

但シ諸植物ノ内ニテ有益ノ品ト認ムルモノハ此ノ限ニアラス

出品ノ器械製絲ハ箱入ガラス蓋ニシテ（縱何尺横何尺）出品スヘシ

但シ箱ヲ新調シ不便ト見認ムルモノハ此ノ限ニアラス

出品ノ繭ハ壹升ヲ定度トシ袋入ニテ出品スヘシ

但シ郡内ニ産出スル所ノ村名（製作人ハ記載スルニ及ハス）ヲ明瞭ニ記載スヘシ

繭ハ製絲場毎ニ一品宛ハ必出品スルモノトス

但シ一ノ製絲場ニテ數品ヲ出品スルモ妨ナキモノトス

○手繰網禁止（秋田縣報告）　秋田縣水産ノ最盛ナルモノヲ鰤魚トス若シ能ク繁殖ノ方法ヲ講究シ務メテ其ノ生産ヲ妨ケサレハ他日我カ國ノ一大産物トモナルニ至ルヘキニ漁民中從來手繰網ヲ以テ該魚ヲ捕獲スルモノアリ右ハ卵子繁殖上頗ル妨害トナルニ依リ一昨十四年郡長ヨリ之カ禁止方ヲ稟請シ尚又昨十五年十二月中該郡内ニ於テ開キタル水産談會ニ於テモ衆議一致該網ノ妨害タルニ決シタレハ郡長ヨリ再度稟請ニ及ヒタリ因リテ縣廳ニテモ綿密ノ審査ヲ遂ケ尚各郡水産談會等ニ其ノ利害ヲ諮詢シタル上遂ニ本月一日縣令ヨリ管内布達シ右手繰網ノ使用ヲ禁止シタリ

○鐵道布設ノ達　今般中仙道鐵道布設ノ儀決定相成リ來ル十七年度ニ於テハ其ノ經費トシテ金五拾萬圓別途支出スルニ付キ速ニ工事ニ着手スヘキ旨工部省ヘ達アリタリ

○新道開鑿（和歌山報告）　和歌山縣下熊野街道中名草郡黑江、日方兩村ノ間ニ一ノ小丘アリ黑江坂ト云フ嶮岨ニシテ車行ニ便ナラサルニ因リ隧道ヲ穿タントシ去ル明治十二年其ノ工ヲ起シタレトモ元來土質脆弱ナルヲ以テ遂ニ壞崩セリ依リテ今春更ニ工ヲ開鑿ノ事業ニ換ヘントシ縣會ノ議決ヲ經テ去ル七月工事ニ着手シ本月ニ至リテ成ル去ル六日縣官及郡長等臨場シテ開道式ヲ執行シタリ

○河川改修祝詞（愛知縣報告）　愛知縣大書記官野村賀眞去月末管内ヲ巡回シタル景況ハ概略官報第百拾貳號ニ掲載セシカ其ノ去月廿八日安藤廣田兩川改修式ニ臨ミタル節ノ祝詞要旨左ノ如シ

此ノ廣田川、安藤川ハ三河國幡豆郡江原村ヲ初メ貳拾村、碧海郡上和田村ヲ初メ貳拾六村、額田郡菱池村ヲ初メ八村ノ惡水路ニシテ其ノ流末ハ皆矢作古川ニ注入ス然ルニ矢作古川ノ川底高ク加フルニ廣田川ノ中流ニ中島永良室ノ三堰、安藤川ノ中流ニ江原堰、古川ノ中流ニ小燒野堰アリテ水行ヲ妨ケ放水便ナラス年々許多ノ水害ヲ蒙リ地民ノ疾苦舉ケテ言フヘカラス是ヲ以テ有志者屢〻相謀リ此ノ水害ヲ除却センコヲ企ツト雖甲ノ是トスル所乙之ヲ非トシ乙ノ欲スル所丙之ヲ拒ミ互ニ好惡ヲ同ウスル能ハスシテ曾テ一點ノ着手ニ至ラス國眞縣令夙ニ地民ノ疾苦ヲ憐ミ去ル明治十二年縣官中野莊一、近藤禮太郎ヲシテ實地ヲ測量セシメ土木課長黑川治愿ヲシテ其ノ除害ノ方法ヲ審按セシメシニ第一ニ矢作古川口ニ用水杁樋ヲ新設シ第二ニ小燒野堰ヲ改築シ第三ニ矢作古川ノ堤防ヲ改築シ第四ニ安藤川ヨリ下岡山村地内ニ至ル一條ノ惡水路ヲ穿チテ之ヲ安藤廣田兩川ノ末流トシ第五ニ廣田川ノ三堰並ニ安藤川ノ江原

115

堰ヲ廢シ第六ニ高瀬用水及西淺井用水ヲ改造シ第七ニ小燒野村外七村ニ關ル弓取川口ニ扒樋ヲ新設シ第八ニ同川ノ堤防ヲ廢シ第九ニ廣田川ノ支流卜部川ヲ改修シ第十ニ洲川ヲ改造シ第十一ニ廣田川ノ上流菱池周圍ニ堤防ヲ築キ第十二ニ廣田川ニ堤防ヲ築キ第十三ニ安藤川ヲ增開スルニアラサレハ全ク水害ヲ除ク能ハス而シテ其ノ業ハ皆相持チテ互ニ相離レサルモノナレハ之ヲ一時ニ擧行セサルヲ得ス然ルニ其ノ工費殆ト拾萬圓ノ巨額ヲ要シ三郡內百四拾餘村ニ關係スルヲ以テ輙ク之ヲ擧行スル能ハス漸ク去ル明治十五年八月ニ至リ縣官郡吏ヲシテ之ヲ關係村々ニ諭サシムルニ碧海郡高畑村水野善十郎、幡豆郡和氣村犬塚清藏等率先シテ村民ヲ誘導シ何レモ異議ナキヲ表シ將ニ起工セントスルニ方リ同年十月非常ノ洪水アリ上流三島堤防ヲ破リ未曾有ノ水損ヲ蒙リ豫メ巨額ノ工費ニ堪フヘカラサルヲ察シ專ラ村民ノ力役ヲ以テ施工スルノ方法ヲ定メ縣官荒木謙三、伊藤正、中野莊一等ヲシテ工事ヲ督セシメ同年十月工ヲ起シ本年六月工ヲ竣ヘ今ヤ用惡水兩ナカラ宜シキヲ得水腐ノ患ナク旱魃ノ害ナク既ニ本年ノ如キ久旱ト雖未曾有ノ豐熟ヲ觀ルニ至リ其ノ收穫米ヲ增スモノ年額凡貳萬石ニ降ラス公益民福實ニ大ナリト云フヘシ是ニ於テ第一、第二、第六、第七、第八、第十、第十一ノ工事ハ曩ニ成功ノ祝典ヲ擧ケ今又第三、第四、第五、第九、第十二、第十三ノ廣田川安藤川ニ屬スル改修工事成功ノ祝典ヲ行ヒ各村相集リテ偕樂ノ意ヲ表ス予豈之ヲ喜ハサルヘケンヤ抑〻此ノ偉業ヲ奏スルモノハ縣令ノ見ル所課長黑川治愿ノ計畫スル所縣官荒木謙三等ノ督工スル所郡長竹本矩慰、古川一貫所重禮郡書記脇屋義純、櫻井博、齋藤重太郎加藤保等ノ鼓舞スル所、水野善十郎、犬塚清藏等ノ率先誘導スル所、各宜シキニ適ヒタルニヨルモノト雖又二郡人民ノ能ク舊慣ヲ脫シ協和戮力日夜土工ニ從事スルニ由ラスンハアラス云々

○新發明器械（農商務省報告）　米國各所ノ牧場ニ於テ從來牛乳ヨリ「クリイム」ヲ製出スルニ使用セル器械ハ凡三十時間ヨリ四十時間內外ヲ費セシニ輓近歐洲ニテ一種ノ器械ヲ發明創成セリ今此ノ器械ヲ以テスルニ僅々一時間ヲ出テスシテ「クリイム」ヲ分取スルヲ得ルノミナラス從來ノ器械ヲ以テスルト同量ノ牛乳ニテ一層多量ノ「クリイム」ヲ得ルノ益アリ故ニ日本ニ於テモ亦此ノ新器械ヲ求メテ使用スルニ至ラハ其ノ實益尠ナカラサルヘシト在紐育領事ヨリ農務局ヘ報道アリタリ

○明治十六年十月中諸公債證書賣買增減表（東京府報告）　△印ハ減

種目	九月ヨリ越高	管內賣買轉入	起業當縣出	十一月ヘ越高	比較增減
金祿	金八二五五一三二〇	金一三三〇〇八五	金一〇七七五	金八一七〇六三〇	金二九三三一〇
秩祿	枚三三二九五	枚三三〇〇	枚六五	枚三六一三五〇	枚一六五〇
新債	金一七一八四〇〇	金五一四	金一四一七七	金一七一八三五〇	金一〇〇
舊債	枚三四五七五	枚五	枚二五二一〇〇	枚三四五七七	枚一
金札引換	金五八一二一〇〇	金四三一〇〇	金六五四〇	金五八二六九〇〇	金八三六三一
金札引換	枚八四一七二一	枚四三一	枚九	枚八四一七二一	枚四七〇〇
起業	枚五二八一二〇〇	枚六七九五〇	金一五九七〇〇	金五二八九九〇〇	金三九一六六△
起業	金四三一四三	金一一〇九	枚四三一	枚四三一四三	枚三七九七〇〇〇
起業	枚三七四三四〇〇	枚一一〇九	枚一五九七〇〇	枚三七四三四〇〇	金二九三八三
配當祿	金二八一四七	金五五六〇	枚五三六〇〇	金一〇〇〇〇	枚一〇〇〇〇
配當祿	枚一六一四五〇	枚五五六〇	金一〇〇〇〇	枚一六一四五〇	枚四一八〇〇
合計	金八〇二	金一九	枚二	金八〇二	金一五六
合計	枚六四七五	枚一一二	金四五〇一三五	枚六四七五	枚一一二
合計	金九九二七四三四五	金一一二	枚四二九一	金九九二七四三四五	金二三三九七五
合計	枚五一四七三六	金一六六〇〇	金二三三九七五	枚五一四七三六	枚五二六七
合計	金一六六二	枚一六六二	枚五二六七	金一六六二	金九九四九〇三〇五
合計					枚五三一七六〇△
合計					金九七六△

○生絲輸出（農商務省報告）　本月十日解纜ノ佛國郵船「タナイス」號ニテ生絲千百三拾八俵（內八百六拾九俵內國商直輸出）屑物百六拾九俵（內五拾四俵內國商直輸出）眞綿五個ヲ輸出セリ但運賃割合ハ前回ノ通ナリ

○運賃改正（工部省報告）　日本鐵道會社ノ貨物運賃ノ內鹽鮭ハ是迄四級賃金ノ處今度他ノ鹽魚同樣二級賃ニ改メタル旨同會社ヨリ工部省ヘ屆出テタリ

○關西聯合府縣共進會褒賞授與式（大坂府報告）　本月八日午后一時大坂本願寺津村別院ニ於テ關西聯合府縣共進會ノ褒賞授與式ヲ執行セリ當日臨場セル者ハ西鄕農商務卿、品川同大輔、山地陸軍少將、森岡兵庫縣令及大坂府知事建野鄕三、石川縣令岩村高俊、高知縣令田邊良顯、步兵大佐茨木惟昭、砲兵大佐牧野毅、工兵中佐別役成義、造幣局長遠藤謹助、驛遞局大坂出張所長平川靖、租稅局大坂出張所長多賀義行、農商務權少書記官片山遠平、兵庫縣大書記官柳本直太郎、滋賀縣大書記官河田景福、大坂府大書記官遠藤達、愛媛縣大書記官湯川彰、大坂府少書記官香坂昌邦、大坂中學校長折田彥市、大坂府警部長大浦兼武、同東區長宮崎鎭幹、審査官長農商務省淮、奏任御用掛山本五郎、審査官同荒川新一郎其ノ他審査官聯合府縣屬官戶長出品人等無慮三千人受賞人員ハ左ノ如シ

一等賞金三拾圓五人　第一區綿（壹人）大坂府攝津國高石半四郎　第二區繭（壹人）石川縣加賀國蠶事會社　第三區生絲（壹人）福井縣越前國勝山製絲會社　第四區紙（壹人）高知縣土佐國吉井源太　第五區織物（壹人）和歌山縣紀伊國平松芳次郎

二等賞金貳拾圓貳拾九人　第一區綿（拾壹人）大坂府攝津國矢野次郎、兵衞同中谷庄八、同森藤三郎、鳥取縣伯耆國村田吉重、大坂府攝津國中野佐助、兵庫縣攝津國德井與市、兵衞、山口縣周防國白木秀太郎、兵庫縣攝津國增田茂三郎、大坂府攝津國高石安太郎、同片岡孫九郎、兵庫縣攝津國大石伊三右衞門　第二區繭（五人）石川縣加賀國大森得次郎、同吉田多吉、滋賀縣近江國岡野小三郎、同選國公平、同大橋四郎、左衞門　第三區生絲（貳人）岡山縣備中國笠岡製糸社、石川縣加賀國金澤製絲社　第四區紙（三人）福井縣越前國眞拆武十郎、高知縣土佐國製紙社總代久松儀平、大坂府攝津國大坂製紙社　第五區織物（八人）石川縣能登國製布會社、福井縣越前國織工會社、大坂府和泉國藤木莊太郎、滋賀縣近江國木村忠助、石川縣能登國諏訪藤八、福井縣越前國滝川祐之進、大坂府大和國宮崎嘉七、德島縣阿波國阪東義澄

三等賞金拾圓六拾貳人　第一區綿（三拾七人）大坂府攝津國水谷吉兵衞、同中谷莊五郎、同河內國岡本市太郎、兵庫縣攝津國宇和久四郎、大坂府攝津國水谷善兵衞、同山北拾吉、和歌山縣紀伊國宇治田久兵衞、山口縣周防國國繁德太郎、兵庫縣攝津國古結眞砂五郎、同中畑治郎左衞門、同畠山平治郎、和歌山縣紀伊國宇治田良助、同大河內役松、同宇治田秀之丞、山口縣周防國邑川松藏、兵庫縣攝津國大石伊三郎、山口縣周防國重田勘三郎、大坂府攝津國多羅尾七郎、兵庫縣攝津國古結小兵衞、同大石六兵衞、大坂府攝津國奈須野忠三郎、兵庫縣攝津國高須喜右衞門、山口縣周防國米重卯吉、大坂府攝津國足立卯之助、同川本寅松、同高石平八、山口縣周防國白井賴太郎、同福永福太郎、兵庫縣攝津國宇和久右衞門、大坂府攝津國大島壽松、同畑新三郎、和歌山縣紀伊國太田源三郎、鳥取縣伯耆國安本喜三郎、大阪府攝津國大見藤三郎、山口縣周防國藤井伊兵衞、同村川吉三郎、兵庫縣攝津國野田與四郎　第二區繭（七人）石川縣加賀國齋藤錄太郎、同小塚聰八郎、同高橋成信、滋賀縣近江國山口泰吉、石川縣加賀國田島安平、福井縣越前國桑原秀作、滋賀縣近江國森藤左衞門　第三區生絲四人、滋賀縣近江國厚生舍、同蠶絲社、福井縣越

第115号

前國松井仁吉同若狹國小濱製絲社　第四區紙(二人)山口縣周防國義濟社同三分一　健作愛媛縣伊豫國角川吉作　第五區織物拾壹人石川縣能登國本多善左衛門滋賀縣近江國淺見又藏同中村吟次郎石川縣能登國笹川又七滋賀縣近江國木澤茂平同田中仁平同土田藤平大坂府大和國井村利一郎福井縣越前國高井鎮彌岡山縣備中國正織社福井縣越前國桑原秀作

四等賞金五圓百三拾七人　第一區綿六拾三人　第二區繭三拾四人　第三區生絲八人　第四區紙四人　第五區織物貳拾八人

五等賞金三圓三百拾五人　第一區綿百貳拾五人　第二區繭七拾七人　第三區生絲三拾九人　第四區紙八人　第五區織物六拾六人

六等賞金貳圓五百八拾六人　第一區綿貳百拾九人　第二區繭百三拾三人　第三區生絲五拾人　第四區紙五拾九人　第五區織物百廿五人

又審査官長山本五郎ノ具狀ニ依リ功勞賞及追賞ヲ得タル人名左ノ如シ

功勞賞貳人　第五區織物　金拾五圓石川縣加賀國金澤區長町撚糸會社　金七圓滋賀縣近江國犬上郡高宮村郡田新藏

追賞拾人　第三區生絲　金拾五圓兵庫縣但馬國養父郡藏垣村故上垣伊兵衛　第四區紙　金拾五圓山口縣周防國玖珂郡波野村故中內與左衛門　同愛媛縣伊豫國東宇和郡野村故兵頭太郎右衛門　金七圓兵庫縣攝津國有馬郡名塩村故東山彌右衛門　同和歌山縣紀伊國有田郡三田村故笠松佐太夫　第五區織物　金拾五圓大阪府大和國葛上郡御所町故淺田操　同兵庫縣播磨國加古郡高砂東宮町故工樂松右衛門　金七圓滋賀縣近江國東淺井郡難波村故中村林助　同同村故乾庄九郎　同愛媛縣伊豫國野間郡小部村故菊屋新助

○波士敦博覽會(農商務省報告)　博覽會場ハ波士敦府ノ東隅ナル「ハレテイングトン」街ニ在リ三階ノ煉瓦室ニシテ長凡壹町半幅四五拾間ノ一大結搆ナリ內外ニ電氣燈ヲ裝置シ暗夜猶白晝ノ如シ會場ノ出入ハ各國事務官及當會ニ關係アルモノハ西隅ノ門ヨリシ縱覽人ハ東隅ノ門ヨリス門前花壇アリ各種ノ草花ヲ栽植シ紅白相映シテ頗ル美觀ヲ添フ會場ヲ別チテ華盛頓樓及本館ノ二區トス華盛頓樓ハ英、佛、獨、伊、蘇、清、東印度及加奈多州諸國之ヲ占メ本館ハ日本、濠洲、愛蘭、墨馬那威、瑞典、布哇、波斯、土耳格、土班牙、伯西爾、サイアム、露西亞等ノ諸國之ヲ領セリ蓋一千七百八十三年九月三日即去ル九月三日ハ今ヲ距ル一百年前合衆國獨立戰爭ノ妖氣僅ニ散シ英國ト和約ヲ結ヒシ日ニ當ルヲ以テ會場內部ノ未ダ整頓セサルニモ拘ラス開場式ヲ執行セリ當府ニ於テ萬國博覽會ノ開設ハ今回ヲ創始トスルヿナレハ府民ハ勿論近在ノ村民等先ヲ爭ヒテ來リ縱覽ス殊ニ當日ハ天氣清朗ニシテ午前十一時半ニ開場式ヲ行ヒシニ縱覽人群集シ館內殆ト立錐ノ餘地ナキ程ニテ博覽會頭ブラッドレー及合衆國政府ノ重立チタル官吏數名及各國事務官等ノ演說アリタリ

華盛頓樓入口ノ右側ニハ佛人某ノ菓子店アリ其ノ結搆盛大ニシテ其ノ建築ニハ巨額ノ出費ヲ要セシナルヘシ實ニ美麗ヲ尽シタル建物ニテ恰モ我カ佛閣ノ觀ヲ爲セリ是ヨリ右ノ方拾餘間ノ間佛國ト相對シテ樓ノ左側ヲ占ムルモノハ獨國ニシテ陳列場ノ廣濶ナル物品ノ良好ナル同樓中同國ニ及フモノナシ即陶器及眞鍮、銅鉄ノ置場ノ如キハ最觀客ノ注目スル所ニシテ其ノ他香物、樂器、油繪、反物等アリ又二階ニハ伊、清兩國ノ陳列場アリ伊國ノ物品中石像、玻璃細工、最見ルヘシ英國ノ出品ハ猛獸ノ毛皮、織物、酒類、武器等ニシテ目新シキモノナシ是或ハ其ノ陳列未ダ充分ニ整頓セサルカタメナルヘシ清國ノ出品ハ重ニ陶器ナレトモ我カ國製造ノモノニ比スレハ數等ヲ讓ルカ如シ其ノ他加奈多州蘇格蘭ノ如キハ未ダ十分一ノ陳列ニモ至ラス○本館中ニ於テ觀客ノ最注目スル所ノモノハ獨リ我カ國ト濠洲ノ出品ノミ濠洲ノ出品物陳列ハ未ダ整頓セスト雖追々着荷ノ摸樣アリ其ノ數或ハ我カ國ヨリモ多カルヘシ其ノ既ニ陳列セル物品中最秀逸ナルモノハ曲木製ノ椅子ニシテ其ノ製法至リテ精妙ナリ其ノ他玻璃細工、種物等アリ○波斯國ハ織物、香物、海綿等ナリ○布哇國ハ砂糖其ノ他農產物多シ○愛蘭ハ革細工、酒類、古代ノ武器等ナリ○目下ノ景狀ヲ以テ之ヲ見レハ西室即華盛頓樓ニ於テハ伊獨兩國東室即東館ニ於テハ日本濠洲兩國ハ何モ其ノ出品物ノ良好ナルト陳列場ノ廣大ナルトヲ以テ自ラ誇視スルモノヽ如シ起立工商會社ノ銅器、香蘭社及圓中孫平出品ノ陶器ノ如キ最賞價ヲ得タリ思フニ當國人ノ日本銅器及陶器ヲ珍重スル所以ハ日本ニハ日本固有ノ美術アリテ他國ノ得テ及ハサル所アレハナリ故ニ固有ノ日本風ノ花摸樣等ヲ好ミテ却リテ西洋風ノ花麗ナル新摸樣アルヲ好マサルカ如シ我カ國ニ於テハ此ノ固有ノ美術ヲ棄却セスシテ愈他國ト異ナル伎倆ヲ研キ益々日本國ニハ得テ擬ス可カラサルノ美術アルヲ知ラシメハ遂ニ我カ商業ヲ隆盛ニスルニ難キヿナカルヘシ若シ夫然ラスシテ漫ニ西洋風ヲ摸シ輕々ニ自國固有ノ美術ヲ廢スルカ如キアラハ恰モ自分ノ得意ヲ棄テヽ他人ノ得意ヲ眞似ルカ如ク遂ニ得失相償ハスシテ今迄ノ聲價モ一朝地ニ塗レ亦拾收ス可カラサルニ至ルヘシ我カ出品人等ハ何モ大奮發每日午前九時ヨリ午後十時迄ハ會場ニ詰切リ物品賣買ニ勉勵スル敢テ米人ノ活潑ニ讓ラス又我カ出品者ノ荷作リニ巧ナル日本ヨリ當府ニ到達セル荷物中一箱モ破壞セシモノナク殊ニ樽ニ竹ノ箍ヲ箱メシモノハ最宜シ稅關官吏等何モ稱贊セサルモノナシ

○海員試驗(農商務省報告)　本年十月十六日ヨリ同三十一日迄下半期大坂海員試驗所ニ於テ海員技術ノ試驗ヲ受ケタル愛媛縣平民越智松次郎ハ甲種二等運轉手ニ岡山縣士族淺沼友七郎ハ同種二等機關手ニ、和歌山縣平民小角喜代松、愛媛縣平民木村芳太郎ノ貳名ハ乙種壹等運轉手ニ、廣島縣平民卷畑富太郎、同縣平民島原仙吉、同縣平民戶谷高次郎、同縣平民濱口榮吉、岡山縣平民大島忠平、靜岡縣平民鈴木常造、石川縣平民角谷長造ノ七名ハ同種二等運轉手ニ、長崎縣平民德永敬一、鹿兒島縣平民遠矢勇助、大坂府平民赤上半次郎、和歌山縣平民楠見喜市ノ四名ハ同種二等機關手ニ、兵庫縣平民西村宗太郎ハ小形船機關手ニ及第シタリ

○外報

○獨逸國民祭(九月六日刊行北獨逸普通新聞抄譯)　ズファルツ州ノモルトケフェルスニモルトケ及ビスマルクノ立像ヲ建設寄附シタル盛大ナル國民祭ノ詳報ヲ得タレハ之ヲ左ニ錄ス

ラインプファルツノドンネルスベルクニ於テ本月二日「セタン」祭日(第三世佛帝拿破侖セダンニ於テ孛軍ノ擒トナリタル日ナリ)ニ當リ愛國心ヲ表示スル盛大ナル祭典ヲ執行シタリ

豐饒ナルプファルツ州ノ全景ヲ眼下ニ見渡ス可キフォーゲーセン山

115

ノ西方ノ山脉ナルドンネルスベルクノ東ニ壘々タル怪巖アリ以前ハ「ドンネルス」巖ト稱シ其ノ名ヲ知ル者稀ナリシニプファルツ州ノ修築協會之ニ美麗ナル林逕ヲ布キ岩石ヲ破壞シテ其ノ通路ヲ開キ岩壁ニハ千八百七十年ヨリ同七十一年ニ至ル孛佛戰爭大修羅場ノ圖ヲ畫キタル鉄製ノ扁額ヲ掲ケタリ而シテ該協會ノ名譽會員ナル英名ノ陸軍大將モルトケノ偉勳ヲ顯表センカ爲ニ此ノ岩巖ヲ名ケテ「モルトケ」巖ト稱スルヿトハナレリフォン、キーナントハ親シク此ノ改稱ノ記文ヲグラーフ、モルトケニ呈セシニモルトケハ欣然トシテ之ヲ嘉納セリ其ノ後千八百八十年距離最遠隔ナル二大岩ヲ接續スルニ幅拾四「メートル」ノ鐵製凱旋牌樓ヲ以テシタリ是カイセルスラウテルン」製鐵所ニ於テ製造シタルモノニ係ル鍍金シタル銅鷲ヲ中央ニ戴キ本年ニ至ルモ尚此ノ裝飾ヲ了セス牌樓ノ兩端岩上ニ接スル處ニ鐵製ニシテ高サ一「メートル」ノビスマルク及モルトケノ立像ヲ建設セリ前者ノ模形ハクロイツナヒノ彫像師カールバウエル後者ノ模形ハ同上彫像師ノ子ノ製作ニ係ルモノニシテ共ニ「カイセルスラウテルン」ノ製鐵所ニ於テ鑄造シタル所ナリ

本年ノ「セダン」祭日ニ於テ此ノ立像ノ建設式ヲ執行セリフォン、キーナントハプファルツ州ノ修築協會々頭ノ資格ヲ以テ先ツ左ノ數語ヲ發シテ曰ク「回顧スレハ智謀勇略ヲ以テ無敵ノ勝利ヲ獨軍ニ與ヘタル大將モルトケノ英名ヲ以テ此ノ岩巖ニ命シタルハ今ヲ距ルヿ既ニ十年ナリト又曰クモルトケノ「先ツ熟慮シテ後ニ敢行ス」トノ金言ハ銘シテ凱旋牌樓ニアリ」ト衆人異口同音ニ勇將ノ萬歲ヲ呼祝シ音樂ノ聲ニ和シタリ然ル後該協會ノ副會頭カイセルスラウテルンノヲイレル演說ヲナシテ曰ク「敵ヲ敗リ戰ニ勝ツモ未タ全キヲ得タリト云フ可ラス又人民ノ命運ハ獨リ刀劍ノミニ依賴ス可ラス必ヤ能ク戰勝ノ利益ヲ保有シテ國家ノ福祉ヲ增進スルニ利用スル人ナカル可ラス而シテ我カ照代ニ在リテハ其ノ人ニ乏シカラス即チ剛毅果斷以テ勇戰ノ好結果ヲ獨逸人民ニ與ヘタル彼ノモルトケ侯其ノ人ノ如キ者アリ又獨逸國ノ大宰相ビスマルク公其ノ人ノ如キアリ公ハ萬代我カ獨逸國ノ恩人ト云フ可シ願クハ公ニ對シテ發スル所ノ祝詞ノ聲モ亦遠ク山河ニ鳴動センコヲ」ト又「トンヲルス」館ニ於テ開キタル祝宴ノ席ヨリ陸軍大將モルトケ及大宰相ビスマルクニ電信ヲ以テ祝詞ヲ通報セリ此ノ鐵製ノ牌樓ハ遠隔ノ地ヨリ望見スルモ其ノ凱旋碑タルヿ明了ニシテ此ノ兩雄ノ眼光ハ來因地方ニ注カスシテ砲煙彈雨ノ經過シタル方位ヲ射ルハ恰屢佛人ノ爲ニ慘害ヲ蒙リタル此ノプファルツ州ヲ保護スルモノヽ如シ

○支那開港場ノ人口及商況（九月八日刊行倫敦經濟雜誌抄譯）目今支那ノ諸外國ト通商貿易ヲ爲スハ其ノ開港場ノミニ限リ外國人ハ惟其ノ場ニ於テ賣買取引スルヲ得蓋開港場ノ數廿貳個所ナリト雖直接ニ貿易ヲ行フヲ得ルハ拾六箇所ニ過キス茲ニ千八百八十二年ノ輸出入表ヲ掲レハ即左ノ如シ

千八百八十二年諸開港場直接外國貿易ノ價額

開港場	輸入	輸出	合計
牛莊	一九三、九三〇、兩	五九、五八八、兩	二五三、五一八兩
天津	一、一八一、九七六、	三、六二三、七二三	四、八〇五、六九九
芝罘	八七四、七四四、	二三二、八八二	一、一〇七、六二六
漢江	九、七三四、	六、三七七、五四四	六、三八七、二七八
九江		六一、六二七	六二、六二七
蕪湖			二、五〇〇
寧波	二〇四、六七二	二八、三五五	二三三、〇二七
福州	二、七一二、九六二	七、六八八、六九四	一〇、四〇一、六五六
淡水	六〇五、九七四	六二、二〇七	六六八、一八一
打狗	一、一〇四、六三二	一、〇三〇、六六六	二、一三五、二九八
厦門	六、五五二、九三三	三、六三一、七二九	一〇、二八四、六六二
汕頭	五、八七〇、〇〇三	一、九一二、〇八〇	七、七八二、〇八一
廣東	四、五八四、四四八	一二、六一三、〇一五	一七、一九七、四六三
瓊州	六六五、九一八、	四〇七、七五五	一、〇七三、六七三
パアクホイ	七二八、五九〇、	三一五、一九一	一、〇四三、七八一
全額	七九、五〇四、二四三	六七、三三六、八四六	一四六、八四一、〇八九

上海ヨリ再輸出（殊ニ日本ニ向テ）

一、四五六、四一〇

自餘ノ開港場ヨリ再輸出

三三二、六〇五

上海	五四、二一一、二二九、	二九、二九一、七九〇
獨國	五六	四七四
佛國	一二	三三五
荷國	二	一七
丁國	二	五六
牙國	七	二〇二
瑞國及諸國	一	七〇
露國	一七	七八
澳國	二	六二
白國		三
伊國	二	七〇
日本	一二	四七二
伯國		三
條約セサル諸國	五	二四〇
合計	四四〇	四、八九四

再輸出　一、七八九、〇一五
全額　一、七七、一五、二二八
純出入　六七、三三六、八四六　一四五、〇五二、〇七四

是ニ由テ觀レハ若一日事アレハ先ツ誰カ最影響ヲ被ルヘキヤ更ニ言ヲ俟タスシテ知ルヘキナリ

○氣象

○地理局報告

全國氣象摘要　氣壓ハ東部ニ於テ著シク上昇シ西部ニ於テハ變化ナク極北東部ニ於テ最モ低シ九州ニ於テ最モ高シ○靜穩或ハ不定ノ風吹キ北西部ニ於テハ雨或ハ雪降リ其他ハ陰天又內海ノ東方ハ快晴ノ天氣ナリ○溫度ハ前廿四時間ニ餘程低下セリ諸所十度或ハ尚ホ多ク下レリ

特 115 号 本文

全國氣象十一月十三日

京都時午前六時東京時午前六時十六分
長崎時午前五時三十六分

測候所	晴雨計	風向	風力	雨量	溫度	天氣
長崎	七六九			○	六	晴
鹿兒島	七六八	北	一		七	曇
宮崎	七六八	西	一		四	仝
高知	七六七	西	二		六	快晴
和歌山	七六七			○	八	曇
廣島	七六八			○	二	快晴
大坂	七六七			○	三	仝
京都	七六六			○	二	仝
下ノ關	七六八			○	七	曇
境	七六六	南西	一		四	仝
金澤	七六五	南	一		六	雨
岐阜	七六六			○	三	曇
濱松	七六四	西	二		七	晴
沼津	七六四			○	八	曇
東京	七六四			○	七	仝
新潟	七六五			○	四	雨
秋田	七六四	北		二	一九	曇
野蒜	七六四			○	○	仝
宮古	七六三	西		一	三	快晴
青森	七六三	南西		一	一七	雪
函館	七六三	北		二	七	仝
札幌	七六二	南		二	九	曇

例言　晴雨計ハ佛厘ミリメートルヲ用フ○風向ハ眞方向ヲ示ス○風力ハ配方零ヨリ六ニ至ル（○ハ靜穩一ハ軟風二ハ和風三ハ疾風四ハ強風五ハ暴風六ハ颶風）ヲ示ス○雨量ハ前二十四時間ノ量ヲ佛厘ミリメートルヲ以テ示ス○溫度ハ蔭所ニ於テ攝氏ノ度ニ從フ（氷點ハ○氷點上ノ十及二十度ハ一〇及二〇氷點下ノ十及二十度ハ九〇及八〇）

○海軍觀象臺報告

十一月十三日	午前三時	仝　九時	午後三時
風雨鍼（イシヲ）英寸（ヱンスン）	三十寸〇二五	三十寸一一六	三十寸〇五〇
寒暑鍼 華氏	四十七度	四十九度八	五十五度八
濕氣 一ヨリ百ニ至ル	六十八	六十三	六十六
風 方位 八點ニ區分ス	北	北	北東
風 速力 英里（マイル）	三里	二里	三里
天候 陰部一ヨリ十二ニ至ル	曇 陰部九	曇 陰部八	曇 陰部十

寒暑鍼高極五十九度八低極四十四度

（午前零時ヨリ午後三時ニ至ル間ノ實驗）

天候ハ昨十二日午後三時後漸ヤ曇天トナリ今午前九時頃ヨリ正午過迄時々日光ヲ見ル風ハ昨午後三時後方位北方ニ轉シ今正午ヨリ又北東ニ移ル速力ハ同三時ヨリ今午前一時ニ至ル平均約十四里弱爾後微弱ナリ風雨鍼ハ昨日ニ比スレハ大ニ上昇ス

記事

○廣告

兵庫縣管內地誌要略　字引
小本壹册
編輯　城水兼太郎
出版　（發）師寺卯兵衛　（船）井政太郎　兵庫

○版權書目廣告

兵庫縣管內地誌要略　附圖
拾級代數書下卷
小本壹册
編輯　田邊丹吾　（發）師寺卯兵衛　（船）井政太郎　同
出版　岩佐一郎　武田丑升　大島直次郎　畑田太郎　徳島
世古文吉　渡邊貞次郎　谷口藤吉

右本日版權ヲ免許ス

明治十六年十一月十二日　内務省

○廣告

今般當省告示第百十一號ヲ以テ飯山第廿四國立銀行及大坂第百廿六國立銀行債主申出期限本月三十日迄延期致候條右兩銀行ニ貸金預ケ金其他可受取勘定アルモノハ長野縣長野町第二十四銀行殘務取扱所又ハ同行東京支店及大坂府西區江戸堀下通一町目五十三番地第百廿六銀行殘務取扱所又ハ同行笠松支店ヘ可申出若右期限內ニ申出サルモノハ鎮店ノ分配ニ加ヘサルベシ

明治十六年十一月　大藏省

○來ル十二月當校ニ於テ卒業スヘキモノ中學師範學科ニ凡八名小學師範學科ニ凡二名アリ各地方ノ任用致度向キハ當校ニ照會アリタシ

明治十六年十一月十二日　東京師範學校

○廣告

一槍槻杉木切及脊板杉丸太其外切屑類

右ハ有栖川宮御邸建築殘品今般入札ヲ以テ拂下候條望ノ者ハ本課ヘ出頭入札規則幷現品熟覽ノ上來ル十九日午前十時限入札可致但即日開札ノ事

明治十六年十一月十四日　工部省總務局營繕課

○明治十六年十月中留置音信

月日	發信人	受信人
十月十六日	八王子鹿ニテヲヽ井上忠太郎（カミムラ三十三番地）	越後古志郡柳原町（アツマヤ清四郎方）鳥越和平太
同月廿一日		

右赤羽電信分局

月日	發信人	受信人
十月十日	三島郡ヨイ（タミヤ下町）	川越新介
同月十四日	櫻井町松（島喜平方）	西澤亦八
同月十八日	千葉醫學校ニテ	小出鎮江
同月廿七日	富山室山町	毛利ルスイ
十月廿八日	三島宿	玉井タシヤ

右淺草電信分局

月日	發信人	受信人
十月三日	熊本鎮臺野砲隊米澤定足（岩國分局ニテ熊毛郡ヲコウヲリ村八十八番地）	竹內收平
同月十二日	神奈川青木町宮本重吉宅	鈴木重直（彌左衛門町十八番地ドウコウサカタ）
同月十五日	神戸（サクチロウ）	竹內牧之助（築地南小田原町一丁目アクタヨ方）
同月十七日	金澤專門學校	宮本重吉（南小田原町二一番地）
同月廿四日	名古屋鎮臺	伊勢屋ケイヘイ（京橋區八官町十五番地紅葉館山岡方）
同月同日		高橋鍵藏（京橋南小田原町ニ丁目百十八番地）
		川上常明

右電信中央局

月日	發信人	受信人
十月十日	品川	佐藤海軍少佐（谷太郎吉方）
同月同日	熊谷	遠藤市郎（承館）
同月十七日	今村三五郎	飯田町六丁目一番地山田（アキヨシ方）
同月十八日	横濱（ウスイ）	前田海軍（タイイ）醫家（後）富士見町（四番地）
		カワノソウケン（元園町廿九番地）
		コミヤマクマジロウ（市谷木村町三十九番地）
		ウスイケンスケ

特 115 号 本文

同月廿三日　横濱　フィルード
同月十一日　出雲崎　池ショウブロウ

月日　受信人

十月六日　熊本ムコウタカラ町　タカツレン
同月七日　熊谷　マイギブスケ
同月同日　宇都宮尾上町　宇田川ヲキタ
同月同日　上田テンマケンソウ町　澁谷セウサフロ
同月八日　鐘岡三番町　山田米造
同月十日　水戸下市東鑑　セキユヒデ
同月同日　水戸下市　菊池文三郎
同月同日　岩代ハンダコウサシコウセイカンタイイチキリウジョウ　ヒツチコツク
同月十三日　横濱百六十六番　ロトビツク
同月同日　新發田サンノ町サカナヤ　ストウクマジロ　サクマゴンジロヲ
同月十四日　宇都宮傳馬町トミヨシヤトヨサブロ方　佐治久吉
同月十七日　フフマヤ町鍛冶方　イイダギスケ
同月廿日　秋田カトウリ町　カトマエキ
同月同日　石ノ巻橋町ソウマヤ方　アベタツサブロ
同月廿二日　麻布東町廿八番地　林賢德
同月卅一日　魚津　メアリカ良三

月日　發信人

十月十日　桑名ナカシマチウ　渡邊嘉吉
同月同日　桑名バハイトウジウゴロヲニテ　ニイシウジロウ

月日　受信人

十月二日　新潟　鈴角　三輪治郎介
十月五日　豆州内浦米蕎ニテ　サンカ子　四日市赤須賀　肴屋定八

右四日市電信分局

月日　發信人　受信人

十月一日　日本橋區本石町五番地　キウヘイ　南部留郡大富村　山田ショウジ
同月六日　甲府タテキンジュ町　旭キヨノ　宍橋久保田屋方　ヲトゴロジュンシロウ
同月十一日　逸リ驛町六番地コイシイヘイニテ　清水源平　南部留郡下吉田瑞穂村　渡邊ヨンジロウ

右猿橋電信分局

右留置普信心當リノ者ハ自身罷出候歟又ハ書面ヲ以可申出候事

明治十六年十一月　電信局

○郵便没書廣告（十一月九日分）

○齋藤宛濱町三丁目六番地○神田撥住町大草庄藏宛島村○越後丸山天草悠四郎宛大澤邦太郎○横濱櫻木町五丁目拾五番地木原宗次郎宛京橋區實我豐吉○神田區五軒町拾五番地巽浦方土橋九四郎宛日本橋區濱町第二場山田○東京靈岸島東湊町二丁目大久保宛佐倉より右心當リノ者ハ爲受取驛遞局ヘ罷出候歟又ハ書狀ヲ以テ申越候樣可致事

明治十六年十一月十四日　驛遞局

○郵便船出發廣告

本日午前十一時本局締切芳野丸ヲ以テ四日市ヘ向ケ郵便差立候事
本日午後六時十五分本局締切高砂丸ヲ以テ神戸ヘ向ケ郵便差立候事
本月十五日午前十一時本局締切品川丸ヲ以テ神戸ヘ向ケ郵便差立候事
本月十五日午後一時本局締切順速丸ヲ以テ八丈島ヘ向ケ郵便差立候事
本月十六日午前十一時本局締切越中丸ヲ以テ函館小樽ヘ向ケ郵便差立候事

明治十六年十一月十四日　驛遞局

第 115 号　本文